

市の高齢化率は国を上回るペースで進み、高齢者の一人暮らし世帯や認知症高齢者が増加しています。「介護保険制度」は、身体機能の衰えや認知症などにより、介護を必要とする高齢者を社会全体で支える仕組みとして平成12年4月から始まり、3年間を事業計画期間としています。

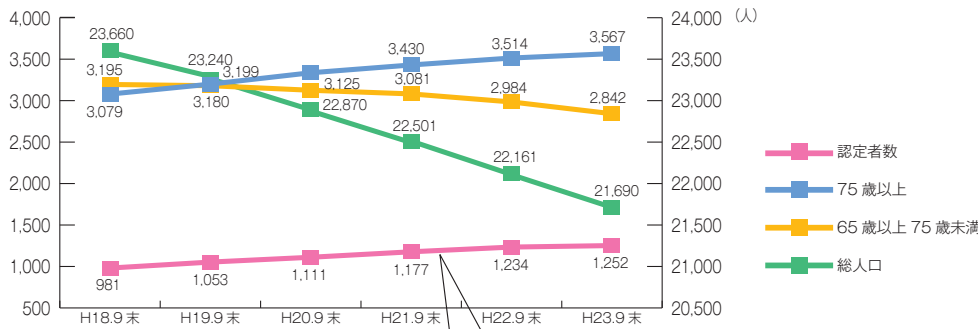
現在、市では、高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画づくりを進めており、このページでは介護保険事業の現状を紹介します。

健康福祉課介護保険係 ☎ 1186

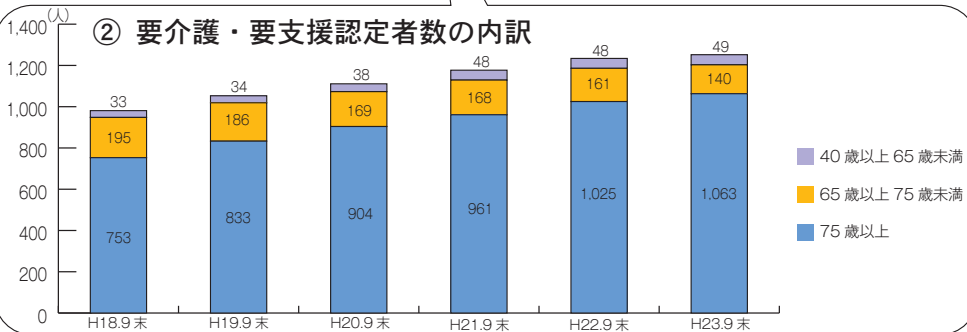
① 人口、第1号被保険者数および要介護・要支援認定者数

鳥羽市の総人口はこの5年間で大きく減少し、65歳以上75歳未満のかたも減少しています。それに対して、75歳以上のかたは増加しており、要介護・要支援認定者数も増加しています。

また、要介護・要支援認定者数の内訳をみると、75歳以上のかたがその大半を占めています。



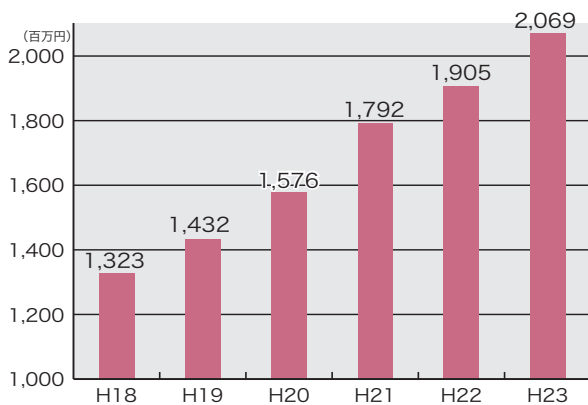
② 要介護・要支援認定者数の内訳



③ 介護給付費の推移

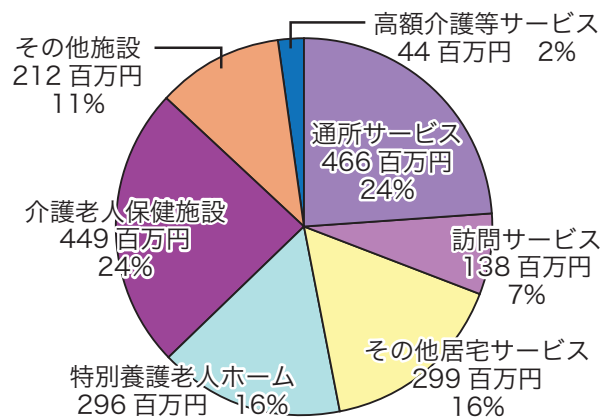
認定者数の増加などに伴い、介護給付費は平成18年度の13億2千3百万円から、毎年1割程度増加を続け、平成22年度は19億5百万円の決算となりました。

また、今年度は20億6千9百万円の予算を見込んでおり、今後も増加の傾向となっています。



④ 平成22年度介護給付費の内訳

平成22年度の決算額19億5百万円のサービス別内訳をみると、通所サービスが24%、介護老人保健施設が24%、その他居宅サービスが16%、特別養護老人ホームが16%、その他施設が11%、訪問サービスが7%、高額介護等サービスが2%となっています。



※次回は給付の分析、今後の給付見込などについて紹介します。

高齢者福祉計画・第5期
介護保険事業計画 (平成24～26年度)
づくりを進めています



Vol.1